

曉美会同志会行事計画(案)

- 4月 理事会、評議員会(昭和57年度行事案、予算案、58年度総会)場所など
- 5月 協会(浜路第一福良)
- 1月 理事会(昭和58年度行事案、予算案、59年度総会場所など)
- 1月 前入会員入会式(体育館で延期出席で)

曉美会同志会57年度予算(案)

I 収入の部	・助成振興事業費 320,000
入金金 3,240,000	母校協力費120,000 母校職員
II 支出の部	退職記念品費100,000 慶弔
・管理費 1,860,000	費100,000
会費300,000 同窓会館管理	・積立金 1,000,000
維持費750,000 入会記念費40	・立派な金200,000 会報発送
0,000 人件費300,000 備用品	立300,000 会館維持積立500,
費20,000 通信費40,000 交通	000
費50,000	・印刷費 60,000

会報5年に1回発行

発行 予算難で断念

「会報5年に1回発行」という目標を掲げてきたが、発行に必要となる経費が膨れ上がり、予算難で断念せざるを得ない状況に陥っている。会報の発行は、同志会員の相互連絡を図る重要な手段であるが、現状では継続することが困難である。今後の発行については、さらなる経費削減と収入増大の両面から検討を進めたい。

委員会制度も廃止

新しいあり方を模索

「新しいあり方を模索」というテーマで、委員会制度の廃止について検討されている。従来の委員会制度は、業務の分担と責任の所在を明確にするために導入されたが、現在は状況が大きく変化した。新しいあり方を模索し、より効果的な運営体制を構築したい。

各回クラス会便り

同窓会は花盛り

各回クラス会便り：各クラスで様々な行事が行われ、同窓会は花盛りです。クラス会では、卒業生同士の交流を深め、母校の発展に貢献しています。また、同窓会全体としても、様々な活動を通じて、同志会員の絆を強めています。

活躍する同窓生

友好都市無錫市を訪ねて

活躍する同窓生：同窓生が活躍する姿が紹介されています。友好都市無錫市を訪ねて：無錫市を訪問した様子が紹介されています。同窓生は、それぞれの分野で活躍し、母校の名誉を高めています。また、友好都市無錫市を訪ねて、文化交流を促進し、友好関係を築きました。



友好都市無錫市を訪ねて

活躍する母校の後輩

ますます成果あがる

活躍する母校の後輩：母校の後輩が活躍する姿が紹介されています。ますます成果あがる：活動の成果が紹介されています。後輩たちは、母校の教育を受けた恩恵を受け、社会で活躍しています。また、活動の成果もますます大きくなっています。

技術資源日本に思い

技術資源日本に思い

技術資源日本に思い：技術資源の活用について紹介されています。技術資源日本に思い：技術資源の活用について紹介されています。技術資源の活用は、社会の発展に大きく貢献しています。また、技術資源の活用には、日本の技術力を活かすことが重要です。



技術資源日本に思い

運動部

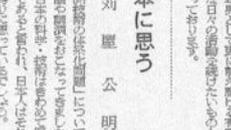
運動部

運動部：運動部の活動について紹介されています。運動部：運動部の活動について紹介されています。運動部は、体力向上と健康増進に貢献しています。また、運動部の活動には、同志会員の協力が必要です。

文化部

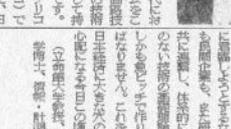
文化部

文化部：文化部の活動について紹介されています。文化部：文化部の活動について紹介されています。文化部は、文化の普及と芸術の発展に貢献しています。また、文化部の活動には、同志会員の協力が必要です。



文化部

友誼の輪が広がる：同志会員の交流が紹介されています。友誼の輪が広がる：同志会員の交流が紹介されています。同志会員の交流は、相互理解と信頼の構築に重要です。また、友誼の輪が広がることで、同志会員の絆が深まります。



友誼の輪が広がる

同志会員の絆を深める：同志会員の絆を深める活動について紹介されています。同志会員の絆を深める：同志会員の絆を深める活動について紹介されています。同志会員の絆を深めることで、同志会員の結束力が強まります。また、同志会員の絆を深める活動には、同志会員の協力が必要です。

同志会員の絆を深める：同志会員の絆を深める活動について紹介されています。同志会員の絆を深める：同志会員の絆を深める活動について紹介されています。同志会員の絆を深めることで、同志会員の結束力が強まります。また、同志会員の絆を深める活動には、同志会員の協力が必要です。

同志会員の絆を深める：同志会員の絆を深める活動について紹介されています。同志会員の絆を深める：同志会員の絆を深める活動について紹介されています。同志会員の絆を深めることで、同志会員の結束力が強まります。また、同志会員の絆を深める活動には、同志会員の協力が必要です。